仕様書対応表

仕様書の内容について、次の要領により実現方法を回答すること。

⑴　仕様書の記載とおりに実現可能な場合は、「実現」の欄に「○」を記載すること。

⑵　仕様書の記載とおりの実現が不可能な場合で、代替機能や代替運用等により仕様書の内容を実現する場合は、その実現方法を「対応方法」の欄に具体的、簡潔に記載してください。

「対応方法」は技術点の評価対象としませんが、記載内容によっては総合評価審査委員会委員から質問をすることがあります。そのときは、回答するなどのご協力をお願いします。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 仕様書の番号 | 仕様書の内容 | 実現 | 対応方法 |
| 1 | 5-1. | AIクラウド基盤システムの整備AIクラウド基盤システムとして、(米)Google社のGoogle Cloud Partner Advantage Programにおけるサービス（以下、サービス）を用意すること。サービスについては、https://cloud.google.com/terms/servicesを参照。 |  |  |
| 2 | 5-2.1) | サービスの利用5-1の利用に際して、下記の機能を満たすこと。本学が契約する(米)Google社のGoogle Workspace for EducationFundamental (GWS EF)による個人認証と連携した利用者の管理が行えること。 |  |  |
| 3 | 5-2.2) | サービスの利用5-1の利用に際して、下記の機能を満たすこと。本学と調整の上、事前に設定するポリシーを反映できること。 |  |  |
| 4 | 5-2.3) | サービスの利用5-1の利用に際して、下記の機能を満たすこと。接続先のIPアドレスやポート番号によるネットワーク制御ができること。 |  |  |
| 5 | 5-2.4) | サービスの利用5-1の利用に際して、下記の機能を満たすこと。本学が別途契約するGWS EFのグループ機能を利用し、上記のアクセス・利用制限ができること。 |  |  |
| 6 | 5-3.1) | 復旧支援サービスに不具合や障害が発生したときは、可能な限りサポートを実施し、早期に通常運用状態に復帰するように努めること。不具合や障害の原因がGWSかGoogle Cloudか不明なときもGWSの管理担当者と連携して対応すること。 |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 仕様書の番号 | 仕様書の内容 | 実現 | 対応方法 |
| 7 | 5-3.2) | 管理者向け初期導入支援以下の項目について、管理者教育のための講習会を行うこと。・Google Cloudの基礎的な概念・Google Cloudプロジェクトの作成、請求先アカウントの設定、基礎的な権限の設定・Google Cloud組織、フォルダ、プロジェクト、リソースの基礎的な概念・Google Cloud IAMの基礎的な概念・Google Cloud Billingの基礎的な概念及び予算の設定やアラートの設定方法・Google Cloud Logging/Monitoringの簡易的な設定方法 |  |  |
| 8 | 5-3.3) | 管理者向け運用支援と質問対応運用支援と質問対応は以下の項目を含むこと。①　管理コンソールのダッシュボードを活用したプロジェクト/ユーザーの利用状況の可視化授業の運用という観点で知りたい情報を得るための情報提供。 |  |  |
| 9 | 5-3.3) | 管理者向け運用支援と質問対応運用支援と質問対応は以下の項目を含むこと。②　アカウントとアクセス権の設定と管理前期と後期の開始時期（年2回）に学部・研究科のアカウントとアクセス権を設定するという観点で有用な情報の提供。 |  |  |
| 10 | 5-3.3) | 管理者向け運用支援と質問対応運用支援と質問対応は以下の項目を含むこと。③　セキュリティの設定クラウドリソースからの接続可否の設定をするための情報提供。 |  |  |
| 11 | 5-3.3) | 管理者向け運用支援と質問対応運用支援と質問対応は以下の項目を含むこと。④　利用料金の確認想定外の高額な請求を防ぐための仕組み（警告、経過時間によるサービスの自動停止など）の情報提供。 |  |  |
| 12 | 5-3.3) | 管理者向け運用支援と質問対応運用支援と質問対応は以下の項目を含むこと。⑤　各種サービスの設定と管理各種サービス固有の情報提供。 |  |  |
| 13 | 5-3.4) | 特定の授業向け技術支援「情報科学基礎実験b」（年間受講者数320人程度）の授業で利用するVertex AI WorkbenchまたはColab Enterpriseの設定と運用を支援する。ただし、Vertex AI WorkbenchまたはColab Enterpriseと同等のサービスが開始されたときは、授業担当者と協議の上、そのサービスへ変更してよい。 |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 仕様書の番号 | 仕様書の内容 | 実現 | 対応方法 |
| 14 | 5-3.4) | ①　プロジェクト管理プロジェクトの作成、プロジェクトへの学生割り当て/削除と権限設定を一括処理できるシェルスクリプトの提供、または前期と後期の開始時期（年2回）に処理を代行。 |  |  |
| 15 | 5-3.4) | ②　警告設定想定外の高額な請求を防ぐための仕組みの設定を一括処理できるシェルスクリプトの提供、または前期と後期の開始時期（年2回）に処理を代行。 |  |  |
| 16 | 5-3.4) | ③　Vertex AI Notebooksの設定Notebooksの環境設定を一括処理できるシェルスクリプトの提供、または前期と後期の開始時期（年2回）に処理を代行。 |  |  |
| 17 | 5-3.4) | ④　上記①②③のシェルスクリプト利用マニュアルまたは代行処理報告書詳しい処理内容は、授業担当者と別途協議の上、決定するものとする。 |  |  |
| 18 | 5-4. | サービスの利用料金2024年度の上記5-3の4)の授業における利用量の想定は次のとおり。ただし、次に示す利用量を保証するものではない。–利用時間・学生：45時間（授業利用(90分)x10回＋事前/事後学習30時間x80人・教員：45時間（学生と同じと仮定）x10人・月間利用時間：1,350時間（90人x15時間）・年間利用時間：16,200時間（月間利用時間x12月）–ハードウェア構成：n1-standard-4（4 vCPUs, 15GB RAM, OS/Software:Free, GPU:NVIDIA Tesla T4) |  |  |
| 19 | 5-5.1) | サービスの利用料金の支払い業務支援本学が要望する単位（授業や研究グループ等）での利用状況確認、報告、及び費用の請求が可能な仕組み（以降、会計システムとよぶ）を提供すること。 |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 仕様書の番号 | 仕様書の内容 | 実現 | 対応方法 |
| 20 | 5-5.2) | サービスの利用料金の支払い業務支援会計システムは以下を満たすこと。(ア)　上記1)の単位ごとに各種サービスの利用期間と金額がわかる職員向け管理ダッシュボードシステムを作成する。(イ)　管理ダッシュボードの利用者は特定の本学職員に限定できること。(ウ)　管理ダッシュボードによって、1)の単位ごとの費用の詳細一覧（従量課金に基づく費用、パートナー契約による割引、実際の請求額）をCSV形式とPDF形式でそれぞれ出力できること。(エ)　前記（ウ）の出力形式は別紙の画面を参考とし、ここに記載の項目はすべて含めることとする。(オ)　前記（エ）の出力は、翌月の8日までにできること。 |  |  |
| 21 | 5-5.3) | 2)をベースとした会計システムの要件定義を契約決定後に行うこと。 |  |  |
| 22 | 5-5.4) | 管理ダッシュボードの利用マニュアルを提供すること。 |  |  |
| 23 | 5-5.5) | 初期導入時に管理ダッシュボードの説明会を開催すること。 |  |  |
| 24 | 5-6. | 説明会初期導入時にサービス利用者（教員、学生）向けの説明会を開き、サービス概要と利用の仕方を説明すること。また、サービス内容に大きな変更が生じたときは、発注者の求めに応じて、サービス利用者向けの説明会を再度開くこと。 |  |  |
| 25 | 5-7 | 納品物1 会計システム |  |  |
| 26 | 5-7 | 納品物2 管理者向け運用手順書 |  |  |
| 27 | 5-7 | 納品物3 利用者向け運用手順書 |  |  |
| 28 | 5-7 | 納品物4 技術支援 |  |  |
| 29 | 5-7 | 納品物5 業務報告書 |  |  |